



土佐藩主山内家伝来の
ひな人形・ひな道具とあわせて、
漆芸品の数々をご紹介します。



企画展

山内家の

おひなさま

匠の極小世界



平成31(2019)年

2月23日 土 ~ 3月24日 日

■開館時間/9:00~18:00(日曜日は8:00~18:00)
※展示室への入室は閉館の30分前まで。

■会 場/高知県立高知城歴史博物館 3階 特別展示室

■休 館 日/会期中無休

■観 覧 料/700円(団体20名以上560円) ※高知城とのセット券 890円

※天皇陛下御在位30年を慶祝して、2月24日(日)は観覧料無料
●高校生以下は無料
●高知県・高知市長寿手帳所持者は無料 ●身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳、被爆者健康手帳所持者と介護者(1名)は無料
※観覧券は当日のみ有効です。(年間観覧券は除く)

高知県立

高知城歴史博物館

Kochi Castle Museum of History

土佐藩主山内家伝来の ひな人形・ひな道具

江戸時代、大名家の婚礼の際には、嫁入り道具とお揃いのひな道具一式をあつらえました。土佐藩主山内家に伝来したひな人形とひな道具約40点を展示します。

貝桶

嫁入り道具のひな型(ミニチュア)であるひな道具。蛤のような二枚貝は同一の貝でないこととぴったり合わさらないことから、女性の貞節の象徴と考えられていました。貝桶はその合貝を納めるための容器です。



唐草丸十字紋 蒔絵爛器

土佐藩主13代豊熙夫人が嫁入りの時に持参した爛器と蓋付椀。島津家の家紋があしらわれています。

女乗物

武家や公家、女性が用いた駕籠を「女乗物」といいます。花桐紋や唐草文様が施された外装、美しい花鳥が描かれた内装は目を引きます。



有職雛

公家の決まりごと(有職)を忠実に写したひな人形。明治34年(1901)に侯爵山内豊景に伏見宮家から興入れした禊子女王が持参したものです。



企画展 山内家のおひなさま ~匠の極小世界~

漆芸の技

ひな道具や嫁入り道具には漆芸の技がふんだんに使われています。それにあわせて、当館所蔵の漆芸品の数々を展示し、蒔絵、象嵌、螺鈿などの高い技術・技法についてご紹介します。

楼阁蒔絵硯箱

水辺に建つ楼阁を表した硯箱。建物の細部まで細かく表現されています。表面は梨子地、岩には高蒔絵といった技法が施されています。



朝顔蒔絵 螺鈿沈箱

沈箱とは各種の香を入れた箱のこと。朝顔の花弁を螺鈿で表し、金蒔絵で葉と蔓を描いています。



■関連企画

特別講座「大名と漆芸品」

- 講師：高尾曜氏(国立能楽堂事業推進課調査資料係係長)
- 日時：3月10日(日)14時~15時30分 ●会場：当館1階ホール
- 参加費：無料。先着80名。事前申込制。
電話・FAX・ハガキ(住所・氏名・電話番号)にて受付。

■スライドレクチャー

展覧会のみどころを学芸員が解説します

- 日時：2月24日、3月3日、10日、24日(すべて日曜日) 10時30分~(約20分)
- 会場：当館3階土佐探索室
- 参加費：観覧料が必要。事前申込不要。



■おひなさま立版古プレゼント

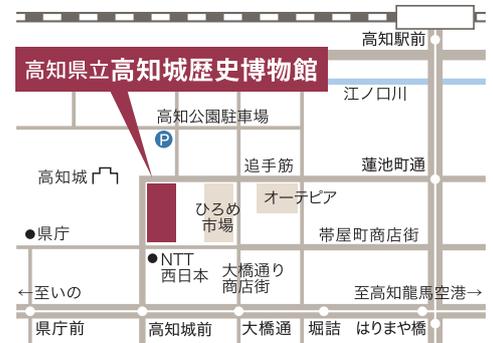
展示をご覧になられた方にお一人様一枚、立版古(紙の絵柄を切り抜いて組み立てる)をプレゼント。

■次回企画展

平成31(2019)年
4月6日(土)~6月10日(月)
「江戸時代へ行ってみよう!
~高知の城下町展~」

■お知らせ

- 1 平成31年(2019年)2月23日(土)より展示室の一部(テーマ展示室)が「江戸時代の美術と文化」をテーマとした展示室にリニューアルします。
※平成31年(2019年)2月12日(火)~22日(金)は展示リニューアルのため3階展示エリアを全面休室します。
- 2 平成31年(2019年)3月2日(土)・3(日)は開館2周年記念イベント「城博の日」を開催します。



交通アクセス

- お車をご利用のお客さま
高知自動車道高知ICから約15分。一般来館者用の駐車場はございません。周辺の有料駐車場をご利用ください。
※障害者用駐車場(2台)あり。
- JRをご利用のお客さま
JR高知駅からとざでん交通路面電車(はりまや橋方面行き約5分)はりまや橋下車、乗り換え(鏡川橋または朝倉またはいの方面行き約5分)、高知城前下車、徒歩3分。

高知県立
高知城歴史博物館
Kochi Castle Museum of History

〒780-0842 高知県高知市追手筋2-7-5
TEL 088-871-1600 FAX 088-871-1619

<http://www.kochi-johaku.jp/>

